

第 37 回国連大学グローバル・セミナー

## UNU Global Seminar: Implementing SDGs in the Anthropocene

UNU グローバルセミナー： ～人新世における SDGs の推進～



日 程: 2022 年 3 月 8～11 日  
時 間: 13:00 - 17:00 JST  
開催方法: オンライン (Zoom)  
使用言語: 英語  
参加人数上限: 100 名  
受講料: 1 名 30,000 円  
修了証: 受講修了時に授与  
問合せ先: [ias.pdt.event@unu.edu](mailto:ias.pdt.event@unu.edu)

### セミナーの概要と目的

COP26 が 2021 年末に開催され、IPCC の第 6 次報告書が発表されました。気候変動の影響は多くの分野に現れることは明確になり、それを最小限にするため、社会の変革が急務です。渇水、洪水、生物資源、地滑り等の災害、熱波、海面上昇等の影響は食料、生活、交通、健康、文化継承等の様々な分野で多大な影響をもたらすのです。今年のグローバルセミナーでは**気候変動がもたらす影響を生物資源、水、教育の三つの分野において考えたい**と思います。

本セミナーでは基調講演を生物資源、水、教育にかかわる世界的に 3 名の著名な研究者にさせていただきます。そして、4 名ほどの小グループに分かれ、生物資源、水、教育に及ぼす気候変動の影響に関して論議をしてもらいます。1 日目はワールドカフェの方式を採用し、30 分ごとにメンバーをシャッフルします。2 日目には生物資源、水、教育に及ぼす気候変動の影響を解決する方策を検討します。1 日目と同様のワールドカフェ方式で解決方法に関して考えてみます。最後の 1 時間は 10 名程度のグループに分かれ、**生物資源、水、教育に及ぼす気候変動の影響とベストな解決策を提案**する発表資料を作成してもらいます。3 日目は作業の日です。自由に発表資料を作ってください。4 日目はそれぞれのグループで生物資源、水、教育に及ぼす気候変動の影響とベストな解決策を口頭で発表してもらいます。

### 期待される学習成果

- 多様な専門分野（生物資源、水、教育）のリーダーと交流し、現代社会が直面する地球規模課題への意識向上
- 段階を追ったグループワークを通して、多面的な側面を持つ地球規模課題へ対応する能力の向上
- 気候変動の影響と影響による課題解決方策についての討議を通じて、合意形成の手法取得・コミュニケーション能力向上
- ワールドカフェ方式による討議や発表準備を通じて、他の大学及び異分野を専門とする参加学生とのネットワークを拡大

### 参加対象者

- 日本の大学に在籍する大学生（学部生、大学院生、留学生で専攻分野は問いません）
  - 気候変動の影響と解決について関心のある若手実務家／社会人
- \* 注：テーマについての専門家、研究者を除く



## プログラム日程

March 8	March 9	March 10	March 11
開会 基調講演 コンセプト紹介 グループワーク	基調講演 グループワーク	(作業日) グループワーク	グループ発表 修了証授与

## プログラム

### Day 1: 2022年3月8日(火)

- ◇ 開会挨拶: 山口しのぶ 教授 (UNU-IAS 所長)
- ◇ 基調講演 1 (気候変動と水): 平林 由希子 教授 (芝浦工業大学教授)
- ◇ 基調講演 2 (気候変動と教育・人材): Yee-Kuan Heng 教授 (東京大学教授)
- ◇ プログラム説明: 福土 謙介 教授  
(UNU-IAS アカデミック・プログラム・アドバイザー)
- ◇ グループワーク (ワールドカフェ形式)

### Day 2: 2022年3月9日(水)

- ◇ 基調講演 3 (気候変動と生物資源): Daniel Murdiyarso 教授  
(ボゴール農業大学教授/国際林業研究センター (CIFOR)主任科学者)
- ◇ グループワーク (ワールドカフェ形式)

### Day 3: 2022年3月10日(木) (作業日)

- ◇ グループワーク

### Day 4: 2022年3月11日(金)

- ◇ グループ発表
- ◇ 修了証授与

※プログラムや講演者は変更の可能性があります。

### 国連大学グローバル・セミナーについて

グローバル・セミナーは、1985年に第1回が開催された歴史あるプログラムです。

国連大学グローバル・セミナーは、現代社会が直面している地球規模の問題と国際連合の取り組みについての意識を高めることを目的に開催されています。学生や若い社会人の方々が、国内外の著名な学者や実務家と講演やグループ討論を通して交流し、特定の問題について話し合うまたとない機会となります。